

2024年度国際共同研究マッチング・シードファンド公募概要
トップレベル国際ネットワーク構築支援プログラム

筑波大学では、CiC 協定校ならびに海外の研究機関のトップレベルの研究チーム*との国際ネットワークの創出または加速を通じて、質の高い国際共著論文等の研究成果、国内外のグラント獲得、若手研究者の育成を促進することを目的とし、以下のⅠ－Ⅰ、Ⅰ－Ⅱを実施します。

本学の複数(2名以上)の研究者から成る研究チーム(修士および博士課程の学生を含んでも良い)と、海外研究機関の複数(2名以上)の研究者から成る研究チーム(修士および博士課程の学生を含んでも良い)が共同で参加することを前提とします。また、他の経費との併用も可能です。

※連携先の海外のトップレベル研究チームの研究代表者としては、各分野の特性に応じて国際的に卓越した研究成果を上げ、それを広く発信していることを要件とします。以下の例を参考にしてください。

- ・ 世界的に高い評価を受けている研究機関に所属する研究者
- ・ 影響力のある学術雑誌や著名な国際会議にて発表実績のある研究者
- ・ 大規模な国際共同研究プロジェクトでのリーダーまたは主要な役割経験がある研究者
- ・ 国際学会や国際組織で主導的な役割経験のある研究者
- ・ 国際的に評価された優れた学術図書等執筆経験のある研究者

Ⅰ 海外研究機関のトップレベルの研究チームとの国際ネットワーク構築のための支援プログラム
(2024年度開始)、上限 100 万円/件、予算総額 600 万円

Ⅰ－Ⅰ 海外渡航による国際ネットワーク創出・加速プログラム: 上限 100 万/件

Ⅰ－Ⅱ 国際シンポジウム・セミナー開催による国際ネットワーク創出・加速プログラム: 上限 100 万/件

..... 4 ページ

Ⅱ 筑波大学・DAAD 二国間研究協力プログラム(2025年度開始)、上限 150 万/件、予算総額 300 万円

..... 5・6 ページ

応募締切

Ⅰ 海外研究機関のトップレベルの研究チームとの国際ネットワーク構築のためのプログラム

応募締切: 10月7日(月)

Ⅱ 筑波大学・DAAD 二国間研究協力プログラム

応募締切: 9月20日(金)

ⅠとⅡの支援期間は異なりますので、詳細はページ 4、ページ 6 に記載されている内容をご確認ください。

応募方法

申請者は、公募詳細ページ(COTRE)を熟読の上、申請書類一式(所定様式)を記入し、u-Rad 上に提出してください。

COTRE(公募詳細ページ:申請書一式):<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/43156>

u-Rad(提出先):<https://u-rad.sec.tsukuba.ac.jp/login/>

※ II 筑波大学・DAAD 二国間研究協力プログラムは、ドイツ側共同研究者が対応する申請を DAAD に提出することが必要です。DAAD で対応する申請書の提出が確認できない場合、資金提供できませんので、ご注意ください。

留意事項

1. 本プログラムで支援する経費の使途は、学内規程に従うものとします。
2. 本プログラムは、同一研究者による I ~ II の複数プログラムへの重複応募及び、筑波大学の海外教育研究ユニット招致プログラムとの重複応募も不可とします。
3. 来年度以降、予算確保の目途が立つ場合に限り、同支援プログラムの公募を行います。国際共同研究マッチング・シードファンドの戦略概要(図1)を踏まえ、経費の継続に関わらず将来性を鑑み、本年度の実施計画を立ててください。
4. 各課題終了後 1 ヶ月以内に実施報告書の提出を求めます。実施後にフォローアップ期間を設けます。その際、採択者報告会等での発表や進捗の報告を求められることがあります。また、研究、産学連携等の高度専門職人材の支援を受け、国際ネットワーク構築への外部資金獲得資金へ申請をお願いすることがあります。
5. 問い合わせ先:研究戦略イニシアティブ推進機構 研究マネジメント室 global_ra@un.tsukuba.ac.jp

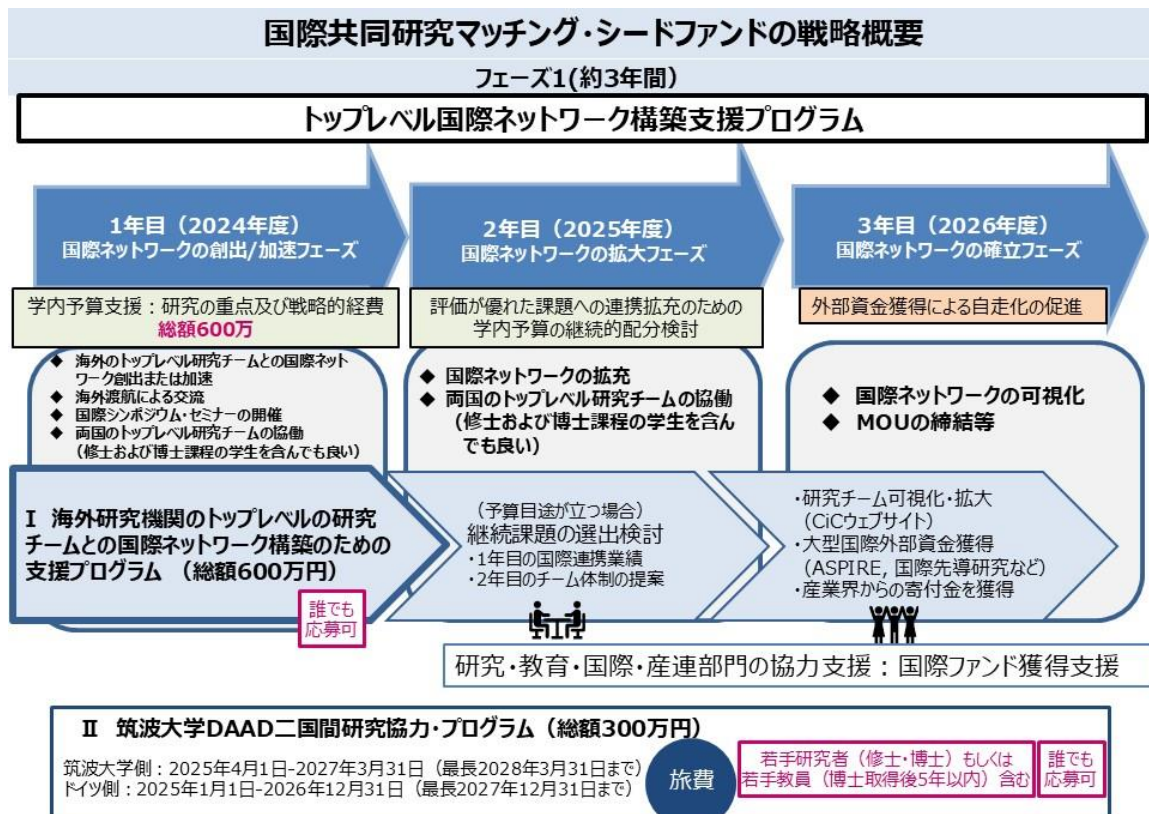


図1 国際共同研究マッチング・シードファンドの戦略概要

2024年度 国際共同研究マッチング・シードファンド
トップレベル国際ネットワーク構築支援プログラム

I - I. 海外渡航による国際ネットワーク創出・加速プログラム

本学の研究チームと海外のトップレベル研究チーム

- 将来を見据えた国際ネットワークの創出
- 現在有している国際ネットワークの加速

旅費・研究費等を支援

誰でも応募可 期間目安：数週間～2か月程度
配分額：上限100万円/件

旅費

共同研究費

I - II. 国際シンポジウム・セミナー開催による国際ネットワーク創出・加速プログラム

本学の研究チームと海外のトップレベル研究チーム

- 国際シンポジウム・セミナーを共同開催
- チーム間の研究連携の創出

旅費、謝金、会議開催費等を支援

誰でも応募可 配分額：上限100万円/件

旅費

謝金

会議開催費

図 2 海外研究機関のトップレベルの研究チームとの国際ネットワーク構築のための支援プログラム

相手先機関名 Partner Organizations	国・地域 Countries/Regions
ボルドー大学 / University of Bordeaux	フランス / France
国立台湾大学 / National Taiwan University	台湾 / Taiwan
サンパウロ大学 / University of Sao Paulo	ブラジル / Brazil
マレーシア工科大学 / Universiti Teknologi Malaysia	マレーシア / Malaysia
カリフォルニア大学アーバイン校 / University of California, Irvine	米国 / United States of America
ユトレヒト大学 / Utrecht University	オランダ / Netherlands
グルノーブル・アルプ大学 / Universite Grenoble Alpes	フランス / France
オハイオ州立大学 / Ohio State University	米国 / United States of America
ボーフム大学 / Ruhr University Bochum	ドイツ / Germany
アルファラビ・カザフ国立大学 / Al-Farabi Kazakh National University	カザフスタン / Kazakhstan
インド工科大学グワハティ校 / Indian Institute of Technology Guwahati	インド / India
国立成功大学 / National Cheng Kung University	台湾 / Taiwan
ルーヴェン・カトリック大学 / Katholieke Universiteit Leuven (KU Leuven)	ベルギー / Belgium

図 3 CiC 協定校一覧

I 海外研究機関のトップレベルの研究チームとの国際ネットワーク構築のための支援プログラム

1. 趣旨

I－I 海外渡航による国際ネットワーク創出・加速プログラム:上限 100 万/件

本学の研究チームと海外のトップレベル研究チームとの間で、将来を見据えた国際ネットワークの創出または現在有している国際ネットワークの加速を目的として、海外渡航のための旅費および研究費を支援します。この支援により、提案する国際共同研究から質の高い国際共著論文等(国際会議論文を含む)の投稿・出版、国内外のグラント獲得、若手研究者の育成を促進することを目指します。

国際会議での発表のみを目的とする渡航や、実質的な国際共同研究を含まない活動に関する申請は、審査の対象外です。

I－II 国際シンポジウム・セミナー開催による国際ネットワーク創出・加速プログラム:上限 100 万/件

本学の研究チーム(2名以上の研究者)と海外のトップレベル研究チーム(2名以上の研究者)で国際シンポジウム・セミナーを共同開催し、チーム間の研究連携を創出することを目的とします。この目的のために、シンポジウムやセミナーの開催に関する旅費、謝金、会議開催費等の経費を支援します。

2. 応募資格

本学の常勤研究者(教授、准教授、講師、助教、特任助教、研究員、博士特別研究員、特任研究員等)

- ※ 過去3年以内に競争的資金等の外部研究資金への応募経験がある者(採否は問わない)もしくは現在保持している者を優先的に採択します。
- ※ 運営費交付金・その他外部資金により雇用されている研究員等は、当該申請内容等について、拠点長又は雇用者(受入教員)を含む責任研究者から申請の許可を得てください。

3. 支援期間等

2024年4月1日以降に開始し、2025年3月31日までに実施完了する課題

- ※ 既に実施中・実施済のものについても、プログラム内容に合致すれば応募可能です。ただし、選考では未実施の課題を優先し、実施中・実施済のものは次点とします。

4. 選考基準

I－I 海外渡航による国際ネットワーク創出・加速プログラム

- ・ 国際共同研究の目的の明確さ、国際ネットワーク創出・加速の必要性、意義
- ・ 提案する国際共同研究の内容(新規性および独自性)
- ・ チーム連携体制、実現可能性
- ・ 期待される効果(提案する国際共同研究から質の高い国際共著論文、国内外のグラント獲得、研究人材育成等の成果が期待できることなど)

I－II 国際シンポジウム・セミナー開催による国際ネットワーク創出・加速プログラム

- ・ 国際シンポジウム・セミナー開催することで創出・加速する国際ネットワークの必要性、意義
- ・ 開催する国際シンポジウム・セミナーの内容(独自性、新たな連携の構築)
- ・ 期待される効果(将来的な国際共同研究の可能性とその波及効果)

II 筑波大学・DAAD 二国間研究協力プログラム公募要領

1 目的

本プログラムは、ドイツ学術交流会 (DAAD: Deutscher Akademischer Austauschdienst) がドイツ連邦教育研究省のプロジェクト関連人的交流プログラム (PPP: Programs for Project-Related Personal Exchange) 予算を原資として本学と実施するマッチングファンドプログラムであり、ドイツの研究グループと本学の研究グループが最先端の研究分野において共同研究を実施し、互いに専門性を補完、二国間協力の恩恵を両グループが享受することを目的としています。

本プログラムは、優れた国際高等教育研究機関の確立、持続的ネットワークの形成、高等教育研究機関の国際化に寄与するため、以下に対する支援を行います。

- ① 若手研究者が国際的な研究経験を積みさらなる国際性を身につけること
- ② 二国間の共同研究関係が強化され、さらなる共同研究につながること

2 応募条件

- ・ 本学に常勤職員として在籍するすべての教員が応募することができます。
- ・ 研究分野に制限はありません。
- ・ プロジェクト代表者(申請者)はプロジェクトの実施及び予算管理に責任を持つものとします。
- ・ 若手教員、若手研究者(修士・博士課程の学生及び博士号取得後原則 5 年以内の研究者(ポストドク))を含むプロジェクトが優先されます。
- ・ 本学の研究グループに他大学・機関の研究者も参加することができますが、プロジェクト予算は使用できません。
- ・ ドイツ側の代表者が、対応する申請書を DAAD に提出する必要があります。

3 研究期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで*

(参考)ドイツ側は令和 7 年(2025 年)1 月 1 日から令和 8 年(2026 年)12 月 31 日まで

*1 年目にステージゲート審査あります。また、3 年目への延長の可能性があります。

4 予算上限・使途

上限:150 万円/年度(ドイツ側は 18,000 ユーロ/年度)*1

使途:本学に所属する教員、研究者のドイツ出張に係る旅費*2

*1 上限額は、採択プロジェクト数や本プログラム全体の予算状況に応じて減額となる場合があります。

*2 物品費、謝金等その他の付随費用及び本学に所属しない教員、研究者の旅費を本予算から支出することはできません。

5 申請手続き・提出書類

申請者は、公募詳細ページ(COTRE)を熟読の上、以下の申請書類一式(所定様式)を記入し、u-Rad 上に提出してください。

COTRE(公募詳細ページ:申請書一式):<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/43156>

u-Rad(提出先):<https://u-rad.sec.tsukuba.ac.jp/login/>

なお、「(様式 4) Comprehensive Project Description (日独共通フォーマット、英語で作成)」については、本学側とドイツ側の双方が同一のものを提出する必要があります。

また、本学又は DAAD いずれかで申請の確認ができなかった場合、本学及び DAAD はともに資金提供を行いません。申請の際は、共同研究のドイツ側代表者が対応する申請書を DAAD に提出する(した)ことを必ず確認してください。

【申請書類】

(様式 3) 令和 7 年度筑波大学・DAAD パートナースhip・プログラム 申請書

(様式 4) Comprehensive Project Description (日独共通フォーマット、英語で作成)

筑波大学側申請者の研究プロフィール/CV(英語で作成)

筑波大学側申請者の過去 5 年間のプロジェクト関連論文のリスト(英語で作成、4 ページ以内)

ドイツ側のプロジェクトリーダーの研究プロフィール/CV(英語で作成、3 ページ以内)

ドイツ側協力者の過去 5 年間のプロジェクト関連論文のリスト(英語で作成、4 ページ以内)

6 申請書類の提出期限

令和 6 年 9 月 20 日 (金)

7 評価基準

申請されたプロジェクトは、以下の基準により評価されます。

- ・プロジェクトの質(目的や方法の明確さ)、科学的新規性、革新性
- ・若手研究者の適切な関与
- ・日独の研究者グループ間の知識の移転、共同研究によって生み出される付加価値(研究テーマ、組織間連携による相乗効果、学際性)、プロジェクト成果の科学的有用性(該当する場合、産業界での有用性)
- ・研究プロジェクトの実現可能性(特に資金的な裏付け、事前準備と今後の計画、海外渡航の適切な計画及び滞在期間)、両研究グループのプロジェクトに関する能力、共同プロジェクトにおける研究グループの補完性(方法論、内容、設備など)

8 報告

- ・プロジェクト採択後申請書に記載した参加者やドイツ訪問期間等の計画に変更が生じた場合、速やかにプロジェクト内容変更届を提出してください。
- ・年度末(3月末)までに当該年度の成果報告書及び予算支出報告書を提出してください。報告書の提出がなかった場合、翌年度の資金提供は行われません。
- ・ドイツ側グループが DAAD のステージゲート審査を通過しなかった場合やその他の必要な報告を行わず DAAD からの資金提供が打ち切りとなった場合、本学からの資金提供も中止となります。
- ・提出された報告書は、本プログラムの目標達成状況を確認するため、本学及び DAAD にて使用します。

9 申請・問い合わせ

研究戦略イニシアティブ推進機構 研究マネジメント室: global_ra@un.tsukuba.ac.jp